

まちの話題

ISA City Topics

5月1日、湯之尾滝上流のひしかりカヌー競技場で、ひしかりドラゴンカップ2011が開催されました。これは、10人1組で250m先のゴールを目指しタイムを競うというもので、昨年は、口蹄疫の影響で中止となったものの、今年は、レディースの部で初参加の職場や中学生の部の参加も多く、前回は上回る74チームが5部門にエントリーしました。

常連で優勝を目指すチームや、なれない手つきで必死にパドルを漕ぐ初参加のチームなど、緊張感もさることながら、和気あいあいの雰囲気の中、スポーツ少年団や参加チーム各団体・職場では、心ひとつに、なお一層のチームワークも

図られるだろうと感じました。

「心ひとつに」 HISHIKARI Doragon Cup ドラゴンカップ2011



初



笑



圧巻



きらめくアートトラック

《東日本大震災チャリティ撮影会》

県内のアートトラック愛好者で結成、伊佐市に本部を置く「龍桜船団」主催で、約150台のアートトラック撮影会が、5月4日、菱刈農村公園で、広島県からの参加もあり行なわれました。

「交通遺児に愛の手を！」を合言葉に第11回を数えるこのイベントは、今回は、東日本大震災の支援を目的として開催され、昼間は、ステージショーやバザーオークションで賑わい、夜は、色とりどりに装飾されたトラックの一齐点灯が始まると、訪れた人たちは煌々電飾に魅了されていました。また、ステージショーにも参加した、大口高校吹奏学部による募金活動も含め15万円を支援金としていただきました。

横断はしっかり目で見て たしかめて



春の全国交通安全運動が5月11日から20日まで行われました。

期間中は各コミュニティや企業などの協力により、登校中の子どもたちに交通安全を呼びかけました。

また、最終日には「まごし館」前で「伊佐人の波作戦」が実施され、運転者に交通安全と書かれた“ひょうたん”を配り死亡事故0を呼びかけました。

笑顔がいっぱい



5月15日、大口総合体育館で“第1回伊佐こどもまつり”が開催されました。

去年は口蹄疫のため中止となりましたが、今年は伊佐市内の保育園・幼稚園・子育て支援センターの協力により、多くの子どもたちで賑わいました。

会場では、スライム作りや折り紙などで楽しそうに遊んでいました。新聞紙のプール(表紙)では、新聞紙の短冊を空中に放り上げたり、中に潜ったり夢中になっていました。

まつりの最後に“あおむし”のお話があり会場に大きなチョウチョが羽ばたきました。

新人自衛隊員表敬訪問



この春、伊佐市から自衛隊に入隊した新人隊員の方々が、4月30日に市長を表敬訪問されました。新しい制服に身を包んだ皆さんは、自衛隊員として新たな生活やこれからの抱負などを話してくださいました。

また、「福祉に役立ててください」と寄付をいただきました。ありがとうございました。

本年度の新人隊員は次のとおりです。

(敬称略・写真左から)

坂元政太郎 (羽月)	島廻竜史 (大口)
小辻紀文 (大口)	高岸祐太 (大口)
中禮祐史 (大口)	蘭田裕貴 (菱刈)

安全・確実・迅速

〈伊佐湧水消防組合消防救助技術指導会〉



東日本大震災の影響で、例年実施される鹿児島県消防救助技術指導会が中止となり、4月30日、大口消防署で、東日本大震災で被災された方々、殉職された消防職・団員の冥福を祈りながら、ロープ応用登はん、はしご登はん、ほふく救出、引揚救助の4演技に管内の26人が参加し、技術指導会が行なわれました。

救助技術の安全、確実、迅速性を主眼に、日ごろの訓練と鍛錬の成果をすべての演技に強く感じました。